

式 辞

本日、ここに長野自動車道 筑北スマートインターチェンジが竣工し、国会議員ならびに県議会議員、近隣市長村長の皆様、国土交通省および県、県警の皆様、また、地権者や建設功労者、工事関係者の皆様など、このように多くのご来賓の方々をお迎えし、記念すべき開通式が盛大に挙行できます事、心から感謝とお礼を申し上げます。

本SICの設置経緯について、長野自動車道は平成5年、全線開通しました。筑北地域には麻績インターチェンジが設置され、安曇野インターとの距離は23.2キロメートルと、県内最長区間となっていました。

ETC カードの普及に伴って、インターチェンジの設置を望む声が高まってきた折、ご臨席賜わる務台衆議院議員より、SICの設置について提案をいただきました。

事業実現に向け、関係機関のご協力のもと、関川前村長と村議会議員は要望活動を進めた結果、平成30年8月、国土交通大臣から連結許可が下り、事業化が承認されました。そこから、5年と4か月の歳月を費やし、竣工を迎えた次第です。

まさに、筑北SICは、本日お集りいただきました皆様の「努力と英知の結晶」であると言っても過言ではありません。明日からは、SICの整備効果が問われてまいります。

村として、時間短縮効果による利便性が向上することから、一層の利用促進を図ってまいります。また、農産物の輸送を含めた流通網の整備による産業振興と、企業誘致についても積極的に取り組み、住宅整備とあわせ、若者定住を進めていきます。

更には、地域防災機能の強化や、交流人口あるいは移住者などの増加も見込まれ、地域活性化に繋げていきます。

それらを推進していくために、SICの開通を契機として、立地条件の良さをPRし、様々な村の魅力を情報発信する中で、住民福祉の向上と村の発展に取り組んでまいります。

結びに、筑北SICのご利用をお願い申し上げますとともに、皆様には引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りたく存じます。僭越ではございますが、皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます、式辞といたします。

令和5年12月17日

筑北村長 太田守彦

【式典受付】



【会場入り口】



【式典の様子】



【主催者挨拶】



【開通セレモニー】



【アトラクション】



【テープカット】



【通り初め】



【一番車プレゼント】



【スタッフ写真】

